

第4次遊佐町定住促進計画パブリックコメント募集でいただいたご意見

ご意見の趣旨	ご意見に対する町の考え方	修正の有無
<p>県の人口ビジョンを参考にすると、女性の賃金上昇が重要であるとの認識があるが、どの様に解決するのか、対策を取っているのか。令和6年12月に内閣府が公表した「2024年秋号 地域課題分析レポート～ポストコロナ禍の若者の地域選択と人口移動～」では、賃金と転出入率の関係について男女別の分析を行っています。分析によりますと、特に20代前半では、賃金と転入超過比率の間に正の相関が確認でき、賃金が高い地域ほど若者の転入率が高い結果が示されました。特に、賃金差に対する転入超過率の変化は女性の方がより大きく、相関も高くなっています。例えば、賃金差を0.1ポイント縮小（全国平均の賃金換算で10%分上昇）すれば、当該地域からの女性の転入超過比率は3.5ポイント増加するとの傾向が示されており、若者・女性を地域に呼び込むためには賃金上昇が重要であることが示唆されています。問題解決されなければならない事業と遊佐町の施策が一致しているのか。</p>	<p>本計画に賃金そのものを直接的に引き上げる特定の施策はありません。雇用機会の創出と産業振興を通じて雇用の安定を図る施策を「(3) 産業振興及び雇用対策」で計画しています。</p>	<p>無</p>
<p>遊佐町の平均所得 2 2 2 万円どの様にするのが一番重要とおもわれます。施策は。</p>		
<p>空き家問題 老人単身世帯の増加。孤独死や詐欺などの犯罪、消費者トラブルのさらなる増。</p>	<p>本計画は主に空き家の利活用による「移住・定住」に焦点を当てた計画です。空き家問題による防犯対策については、「遊佐町空き家等対策計画」の対象となります。</p>	<p>無</p>
<p>コミュニティの崩壊 人口減少に伴い、本県の経済規模が縮小した場合、税収等の減少や少子高齢化による社会保障関係経費のさらなる負担増加が懸念され老朽化したインフラ施設の維持管理・更新等に係る経費は、長寿命化対策を行う場合でも増加が見込まれる財政の硬直化が進行し、行政サービスの低下につながる。</p>	<p>本計画は主に空き家の利活用による「移住・定住」に焦点を当てた計画です。公共施設の維持等については、「遊佐町公共施設等総合管理計画」の対象となります。</p>	<p>無</p>